

学校自己評価報告書

(平成25年度)

1. 教育理念・目標

本校は1946年に創立され、1960年に「大阪府準学校法人」資格取得、1995年に「大阪府学校法人」の資格を取得し、現在、幼稚班、小学部、中学部各学年ともに一クラス設けており、学校としての教育方針を以下のとおり明確にしている。

- (1) 中華文化の発揚
- (2) 中日親善の促進
- (3) 生活知能を充実させる
- (4) 科学知識を培養する

また、中国語、日本語、英語をともに重視するようにしており、国際社会に貢献できる人材を育てることを目標としている。

2. 学校運営

① 事業計画書の作成について

毎決算ごとに「事業計画書」及び「事業報告書」を作成し、関係者から要請があった場合には、閲覧できるように保管している。

② 運営組織については組織図において明確に示されている。担当業務により、教務、学務、総務に分類し責任体制を明確化してきたが、平成24年度より新たに多角開発推進主任を置き、時代の変化にあわせて運営組織も適宜かえていくことでスムーズな学校運営ができる体制を整えた。

③ 経費等の支出に関する出納管理を確実に実行するとともに、消耗品等の在庫管理を強化してきたが、これら一連の流れを一人で管理せず複数人で管理することによりミス未然に防げるよう尽力する。

3. 教育活動

- ① 設定した目標を達成するための授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

教員の採用にあたっては、これまで履歴書、職務経歴書等の必要書類により審査するとともに十分な時間をかけて面接をおこない、授業内容に必要な指導力があるかを判定している。また採用後においても各種の研修会に参加し、国内の教育リソースを吸収し、進歩しつづける教育制度に対応できるようにつとめている。

また、日本の教員免許等、教育に直接関わる資格を取得した場合には手当を支給することで教員一人ひとりの向上心を高めていき各教員の指導者としての教える技術力をあげていく。

- ② 資格取得の指導体制はあるか

生徒の学力を強化し、中・日・英の三カ国語をもって国際化に対応できるように、各種コンクールを開催したり、検定試験に積極的に参加することを奨励している。

4. 教育成果

- ① 進学率の向上が図られているか

本校の教育課程について、幼稚班は基礎教育に重点をおき、小学部で多国語の養成、中学部では高校進学を重視しており、進学率 100%を達成目標に、各教員が連携して三者懇談、受験対策などさまざまな機会を提供しながら生徒の指導にあたっており、土曜日を利用して補習授業を行うなど、支援体制を強化している。

- ② 退学者の低減対策をしているか

退学の理由は生徒により様々であるが、日常的な指導において各教職員が生徒とのコミュニケーションを十分とるように徹底しているが、いじめや長期欠席者等退学につながる可能性がある生徒については、保護者との連携を強化し、三者懇談等により対応している。現在までのところ先生方のこういった努力により、本校ではいじめに関する報告はなく、また、全生徒が学校生活を楽しく過ごすことができる学校であると保護者からも評価を得ている。

5. 学生支援

① 保護者と適切に連携しているか

毎年度春季と秋季に授業参観を実施し、保護者に実際の授業を見ていただき、参観終了後に保護者会を開催し、たくさんの貴重な意見を頂戴することで、生徒が学習に専念できる環境作りに努めている。

② 課外活動等に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

保護者からの要望により学童保育班を設置し共働きなどにより両親が不在になる生徒について、フォローできるように対応している。またクラブ活動への参加を奨励しておりクラブ活動を通じて生徒の悩みを少しでも緩和できるように努めている。

③ 台湾より文化教師や教育大学の指導者と実習学生を招き、民族舞踊、獅子舞、水泳訓練等を行っており、生徒の課外活動を充実させている。

6. 教育環境

① 施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか

生徒の安全性確保のため、耐震診断をふまえて外壁等の耐震工事を実施し、また校舎内では各教室の照明をすべて交換し、コンピュータも最新の機器に更新した。

② 安全性及び防災に対する体制は整備されているか

毎年度1回、実地の消防避難訓練を実施しており、緊急時における避難場所や誘導方法などを教職員に周知している。また、生徒の安全性を確保するために防犯カメラによる常時監視、集団下校の実施など対策を強化している。

7. 学生募集と受け入れ

① 学生募集活動

現在学生の募集活動はほとんどおこなっておらず、口コミにより本校の評判を聞いて入学するケースが多い。また、ホームページへの掲載、学校見学及び体験入学については随時行っている。

② 中途編入の受け入れ状況

中途編入希望者については、筆記試験及び面接を行い、教育計画の進度に遅れがないと判断した場合には、編入を認めている。

8. 財務について

① 予算・収支計画は適正かつ妥当なものとなっているか

本校では、予算・収支に関しては、中期・年度計画に基づいて執行しており、予算・収支に計上した各項目おける金額は公正かつ妥当なものであり、さらに正確性を期すため理事会において報告しその内容についての承認を得ている。

② 財務について会計監査が適正におこなわれているか

本校では半期ごとに年2回、監事による会計監査と公認会計士による会計監査を行っており、理事会に報告している。

③ 財務情報公開の体制整備はできているか

法改正による公開の義務化に伴い平成21年度より本校においても自己評価を実施・公開するとともに平成24年度からは第三者評価の実施についても検討してきたが、残念ながら第三者評価については実施にいたっておらず、今後実施できるよう体制を強化していく。

9. 社会貢献

① 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか

授業の一環として定期的に学校周辺の清掃をおこない、近隣地域へ少しでも貢献できればと考えている。

② 近隣地域との連携・交流について

毎年旧正月に開催される台湾春節祭の会場を提供しており、在校生はもとより、近隣地域の住民にも自由に参加していただき、交流を深めている。

また、近隣の公立小学校や商業施設と文化交流行事を行ったり、ナニワ区民まつり等の地域の行事において、在校生による民族舞踊、音楽、獅子舞を上演するなど、積極的に活動を実施している。